

府立 千里青雲 豊中市新千里南町1
野津章弘監督(数学・1984年生まれ)



ヤバイ! その時、監督は?
相手より、優位に立っている点を探して伝えます。

(初戦)高槻北 17日9:30(豊中)

私立 上宮 大阪市天王寺区上之宮町9
村田 佑右監督(国語・1986年生まれ)



ヤバイ! その時、監督は?
気合を込めた円陣を組み、闘志をわかします。

(初戦)富田林と布施工科の勝者 17日13:50(堺)

私立 明星 大阪市天王寺区鶴堂町5
吉村 卓也監督(社会・1971年生まれ)



ヤバイ! その時、監督は?
良い時も悪い時も、攻守交代を素早く平常心で。

(初戦)大正白根と堺工科の勝者 19日14:10(南港)

千里青雲が、有力校に育ってきた。昨秋の新チームからでも、秋に春日丘、春は浪速に勝利した。大商大にも善戦している。

就任1年目の野津監督は「どんな相手でも、自分たちが優位な部分は必ずある」と話す。「それを探して、いかに分かりやすい言葉で部員たちに伝え、自信をつけさせられるか」。それが、青雲流・強豪対策だ。

打撃は、1番から佐藤、上野、磯崎、辻本、真鍋(主将)。佐藤には一発もあるが、「僕の仕事じゃない」と心得る。投手は、本格派の奥川、幻惑投球の磯崎と、2年の後藤、井上。ベンチを盛り上げる役割は、大瀬が引き受ける。

初戦は、こちらも公立有力校の高槻北。まさに青雲流野球を試す時。さあ、夏の舞台が整った。

主な練習場所は、南河内郡太子町の上宮太子グラウンド。普段、学校周辺の人の目に、練習着やユニフォーム姿が触れることはない。だから今回の取材は「通学中などにお世話になっている地域の人に、顔を覚えてもらえるよう、あえて制服姿で」となった。

春府大会は、阪南大、関西創価など並みいる強豪を下したが、準決勝で大阪桐蔭が壁になった。

投手の山田、伊藤、総(かせ)村は「夏こそ3人で力を合わせ桐蔭を倒す」と気合十分。打撃は、濱口(主将)、川村、京極がいずれも勝負強い。

控えの二塁手で3年の瀧野は、二塁手の楽しさを「振り逃げ時など、一塁手のカバーができる」と話す。仲間のことを思いやれる部員がいるチームは強い。この夏の上宮は、何かを予感させる。

春府大会ベスト16で、夏の貴重なシード権を得た。5回戦で上宮に1点差惜敗も、8点を奪った。

「まさか、でしょう?」笑うのは、監督歴27年の吉村監督。「大阪私学7強」の半世紀以上前と比べ、スポーツ推薦はなく、練習時間も短い。そんな中での快進撃を「授業を終えると、早くユニフォームに着替えたい『野球小僧』が多いからでは?」とみる。

チャンスにめっぽう強い、主砲・石川(主将)、夏を迎え、球速上昇中のエース奥田、信頼の遊撃手・林、理系脳を生かして、相手打者を鋭く分析する捕手・川島、状況分析に長け、円陣で的確な声かけができる重田など、「小僧」を挙げれば紙面が足りない。

明星のOBや地元ファンは、まるで昨日のように「あの夏」を語る。新たな夏を刻む時がやって来た。

モテあせ!
2022年夏 高校野球 地元高校特集号

「モテあせ!」は、朝日新聞大阪販売が、朝日新聞宅配読者限定で発行している地元情報紙です。

ASA 朝日新聞大阪販売

7月9日、高校野球大阪大会が開幕。箕面・吹田・豊中・大阪市の、当社配達区域内で希望のあった13チーム取材しました。ぜひ朝日新聞と併せ、地元で頑張る選手・マネージャーたちの頑張りにご注目ください。各チームのQRコードから、写真満載の特設ページにリンクします。



この夏も、応援したい君がいる。

夕陽丘・小笠原主将
上宮・濱口主将
今宮工科村上主将
南西桜和 栗尾主将
明星 石川主将
大商学園 吉田主将
大正白根 池田主将
千里 南川主将
箕面学園 原口主将
清水谷・泉主将
千里青雲・真鍋主将
大教大天王寺・石原主将

府立 千里 吹田市高野台2
村上 晃監督(地歴公民・1968年生まれ)



ヤバイ! その時、監督は?
「最後の、最後の瞬間まで、諦めずに意地を!」

(初戦)箕面学園 9日14:30(ドーム)

千里は「クジがスゴイ」。165分の2の確率で、京セラドームの開幕戦を引き当てた。しかも6年前の再来である。蛇足だが、大阪桐蔭と度々当たることでも知られる。夏と秋、ここ10年で4度。内、3度が初戦だから、いかに「強運」か。大阪桐蔭は今春まで公式戦29連勝を記録したが、最初の1勝は千里から。

この夏の3年は、走攻守バランスのとれた南川主将と、エース城口の2人。城口は京セラドームのマウンドを想像し、「今からニヤニヤしています」。

面白い存在が1人。唯一、高校から野球を始めた1年の小野は、サッカー部だった中3から「高校野球」に憧れを抱いていた。外野ノックで顔面キャッチするなど動きはぎこちないが、夏前の練習試合で、まさかの三塁打。チーム希望の星が誕生した。

私立 箕面学園 箕面市箕面7
田中 祥雄監督(社会・1961年生まれ)



ヤバイ! その時、監督は?
「どこが相手でも、試合は0-0から始まるんだよ」

(初戦)千里 9日14:30(ドーム)

打撃の中心は原口主将。田中監督に「全打席本塁打を狙え」と言わしめる。有塚、松田らも負けず劣らず、振りが鋭い。

投手は3年の神(こう)山と、2年の金沢、荻野、大前。直球とスライダーにキレのあるエース神山は、昨夏は初戦で登板も、豪雨によるノーゲームで幻のマウンドに。開幕戦は京セラドームで天候の心配もなく、真の「夏のマウンド」に闘志を燃やす。

監督が、ベンチワークで期待を寄せるのが砥出(といで)。「レギュラーをつかめなかった夏前に、自分の役割を見つめ直し」て、誰よりも声が出るようになった。覚悟を決めた男の夏にも注目してほしい。

「箕面から初の甲子園!」を合言葉に、グラウンドとベンチが一体となり、夏の『ベスト1』を目指す。

高校野球特集号発行記念!
『君はどの大学を選ぶべきか』**100名様プレゼント!!**

国公立大・専門職大・短大受験年鑑『君はどの大学を選ぶべきか』2023年最新版を、抽選で100名様にプレゼントいたします。部活動を引退したら本格的に受験勉強に入る3年生はもちろん、早めに進路について考えたい1,2年生、学校関係者、保護者の皆様にも役に立つ情報が満載の1冊です。ご応募はQRコードからお気軽にどうぞ。

大阪販売 オススメの 必携書

ご応募はこちら



848ページ 定価1,540円(税込)

おかわ
府立 **南・西・桜和** 大阪市北区松宮枝町1
福原 泰三 監督(地産公民・1982年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「下を向くな。野球に四球やエラーはつきものだ」

(初戦)大手前 15日14:10(南港中央)

今春、南・西・扇町総合高校が統合、扇町総合の敷地に桜和高校が新設された。しかし移行措置で、旧3校生徒の卒業までは4校が混在することに。そのため、同じ校舎で学ぶ部員たちで連合出場という、「ナニコレ珍百景」な状況。なお、統合時の扇町総合には野球部員が不在のため、3校連合となった。

主将は、南の3年・栗尾。1年時に府外強豪校でプレーも、諸事情で帰阪。昨年、小中学生時代の同級生、佐藤(投手)に誘われて編入学し、2人が中心になって、休部していた野球部を復活させた。

しかし、部員不足のため公式戦は未経験。それが奇しくも学校の統合で人数が揃った。福原監督は「3年は、最初で最後の公式戦。最高の夏にしてやりたい」。初戦を突破すれば、大阪桐蔭と戦える。

府立 **夕陽丘** 大阪市天王寺区北山町10
精松 駿監督(国語・1994年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「やらのアカン!」では固くなるので、笑わせませう。

(初戦)阪南大 15日14:10(堺)

スローガンは「一戦必笑」。勝つから笑うのではなく、笑うから勝つ。2年目の精(あべ)松監督は「僕の誕生日は8月9日、野球の日です!」、取材記者も笑わせた。

今夏は好投手・江口に注目。190センチ近い長身、まるでムチのようにしなる右腕。うなる快速球に加え、スライダー、フォーク、ツーシーム… 同じ軌道からベース手前で鋭く変化。打撃練習では、部員たちの手がなかなか出ない。春は、公立の強豪・高槻北に完投勝利して周囲を驚かせた。

攻撃陣も黙っていない。長打力の麻野、走攻守バランスとれた河井、俊足宮武、そして江口ら。

小笠原主将は、「夕陽丘の野球は、柔らかく、楽しく。それが実現できれば結果がつかってくる。」

府立 **今宮工科** 大阪市西成区出城1
鬼山 大輝監督(保健体育・1987年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「野球は9回ある。どこかでチャンスはきってくる!」

(初戦)上宮太子 16日9:00(住之江)

決して広くはない、他部共用のグラウンド。しかも短時間で、どれだけ実戦を意識した動きができるか。今宮工科の練習風景には、同じ悩みを持つ野球部へのヒントが詰まっている。

例えばボール回しは、ボールを持たない部員も「エア」スローで無駄がない。ノックではあえてボールを捕り落とし、その後の処理を考える。複数の捕手が常に全体に目を配り、良い緊張感が漂う。

今春の4回戦で、大商大堺と善戦した。鬼(き)山監督は「個々の力が及ばずとも、チーム力では劣っていなかった」と、強豪相手でも屈しない。

主将の村上は「気付き力」が評価されるリーダー。投手は今村と2年の宮下。岸和田のだんじり男・森本(2年)が、チームを鼓舞する姿にも注目だ。

府立 **清水谷** 大阪市天王寺区清水谷町2
大畑 裕之監督(社会・1981年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「絶対大丈夫! 俺たちがやってきたことを信じる!」

(初戦)八尾 16日9:00(舞洲)

今春、1年生7人が入部。3年ぶりに連合を組まず、夏を迎えられた。野球部PR用のDVDを作り、周辺の中学校に送るなど、地道な活動が実った。

穏やかな雰囲気のある部員が多い。大畑監督は「子どもたちのフワッとした部分を残しながら、野球部員らしく」と育成方針を示す。

唯一の3年は泉主将。立候補したという捕手は「一度に全員を見渡せるのが面白い、気付きを伝える大切さを感じる。」

投手は、制球力のある久保田、直球が伸びる川口(いずれも2年)。そして、変化球自慢の岸本(1年)。中学はテニス部だった強肩外野手・金沢(1年)、公式戦出場不可だが、一塁手兼マネジャー的な役割も果たす、女子選手・曾田(2年)らも元気だ。

国立 **大教大天王寺** 大阪市天王寺区南河堀町4
鎌田 剛史監督(保健体育・1962年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「こんな場面も楽しみなさい。相手も同じ高校生」

(初戦)泉島・りんくう・藤工・農芸 16日11:10(久宝寺)

選手18名、マネジャー4名。そのほとんどが、野球経験は高校から。中高一貫校にあって、中学部に野球部がないからだ。しかし、石原主将は前向きにとらえる。「経験が少ないということは、伸びしろがある、ということ。僕たちは、毎日成長を実感している」。中高で6年間、小学部も加えれば12年間、学校生活を共にすることで培える、強固なチームワークもある。

公式戦勝利は、19年夏を最後に遠ざかる。しかし昨夏、2年エース石井が、公立の有名校・花園戦で粘りの投球を見せて完投。今夏に期待を持たせた。

石井は中学時代、「勝って仲間と校歌を歌うため」に、外部の硬式野球チームに所属した「変わり種」。取材中、グラウンドの片隅で「生駒山はるかにのぞみ希望の天空...」とリハーサルをしてみた。

私立 **大商学園** 豊中市利倉東1
溝口 丈士監督(国語・1969年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
私が動揺した顔をせず、ドンシツと構えることです。

(初戦)茨木工科 16日11:40(豊中)

夏を前にして、捕手の吉田(主将)が脚を、エースの青柳を腰を痛めた。その結果、捕手には三壘から金岡をコンバート。三壘には2年久保、1年畦(うね)森を抜擢した。マウンドには八尋が、2年エースとして上がる。バッテリーが抜ける痛恨の事態だが、チーム力がかバー。学年を超えて結束が強まった。

打撃の中心は、昨夏も結果を残した「マン振り男」福岡、「ベンチで声を出す吉田のため」と誓う金岡、そして青柳。投手は、條(こへだ)にも託された。

今春、17人が入部し、部員数はなんと2倍以上に。昨夏、春選抜21世紀枠に推薦された山田との延長10回の熱闘が、中学生のハートをキャッチした。

君たちの頑張り、チームの未来。逆境に立ち向かう姿を、地元のみんが注目している。

私立 **興国** 大阪市天王寺区寺田町1
喜多 隆志監督(社会・1980年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「さあ、いこう!」ではなく、「普段通りやろうぜ」

(初戦)堺上・長野・福泉と布施の勝者 16日11:40(堺)

集合写真で驚いてほしい。部員総勢149名。単純に9で割ると、16チームできる計算だ。

智弁和歌山から甲子園3度出場、プロ野球・千葉ロッテでも活躍した喜多監督は「多人数と知りながらも入部してくれた子どもたち。どれだけ一人ひとりにスポットを当てられるか」と話す。練習場は3カ所に分け、練習試合は複数箇所で行う。「3年間、球拾いでは終わらせないのが方針です」。

精鋭中の精鋭が、甲子園を目指す。昨夏は決勝、大阪桐蔭にサヨナラで涙をのんだ。

中村主将(捕手)は「あの悔しさは、二塁手として心に刻んだ。この夏は149人全員の力で甲子園に行く」と力強い。取材では、他の部員からも「149」の数字が聞かれた。その言葉は、必ず力になる。

はくりょう
府立 **大正白稜** 大阪市大正区泉尾3
白井 晶浩監督(保健体育・90年生まれ)

ヤバイ! その時、監督は?
「普段サポートしてくれる人の思いを思い起こせ!」

(初戦)堺工科 16日13:20(舞洲)

18年に泉尾と大正が合併。泉尾は元プロ野球選手・田尾安志氏の出身校として有名だ。

「よいけ!」「ナイスプレーや!」黒土のグラウンドに、たった9人とは思えない気迫のこもった声。それは今回取材した中で、文句なしの「ナンバーワン」。声の出し方を学びに、近隣の少年野球チームが訪ねてくるほどだ。

また、個性を隠さない選手が多いことも、少人数を感じさせない理由。秋から連合を組むことが予想されているが、熱い思いと声は変わらない。

池田主将は「自分自身、12年間の野球人生が将来につながると思っていて続してきた。全員の力で勝ちます!」。大正白稜単独チームでの初勝利を目指す勇ましい声が、夏空にこだました。